



株式会社三重ティーエルオー 代表取締役社長に聞く 地域産業を支える産学官連携

三重大学の中に会社組織があるのをご存じでしたか。株式会社三重ティーエルオーは知的財産統括室や社会連携研究センターと協働しながら、産と学の「仲介役」として、三重県の産学官連携を推進する組織です。

TLO(Technology Licensing Organization)とは
大学等の知的財産部門に協力し、大学の研究成果を特許化して、それを民間企業等へ技術移転する法人機関。

株式会社三重ティーエルオーの事業内容

- 技術移転事業
 - ・特許情報の提供
 - ・知的財産権のライセンス等
- 研究開発支援事業
 - ・技術相談、技術指導、コンサルティング
 - ・調査研究の斡旋、受託
 - ・技術研修、講演会の開催
 - ・技術評価、アセスメント
- 交流支援事業
 - ・大学などの研究開発情報の提供
 - ・産業界のニーズ情報の大学等への提供
 - ・産業界と各分野の研究者との交流支援

三重ティーエルオーとは

全国には、文部科学大臣と経済産業大臣より承認を受けた承認TLOが38機関あります。(平成25年4月1日現在)
株式会社三重ティーエルオーは、三重県の大学・工業高等専門学校などの研究成果や新技術を産業界への特許情報の提供、技術相談・指導、コンサルティンク、産業界と各分野の研究者の交流支援などを行っています。

界に移転するための橋渡しをする機関として、平成14年に三重大学内に設立されました。
技術移転事業、研究開発支援事業、交流支援事業の3つを柱として、企業への特許情報の提供、技術相談・指導、コンサルティンク、産業界と各分野の研究者の交流支援などを行っています。

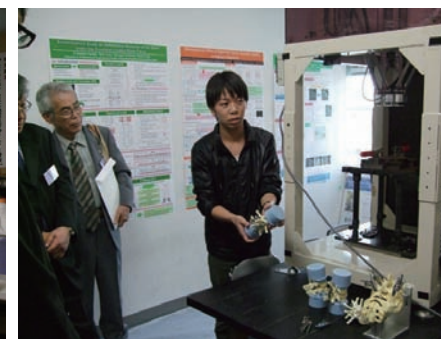
会員企業向けに各種サービスを提供

三重ティーエルオーでは、会員企業に向けて特許情報の優先開示や研究開発に関する各種支援など、さまざまなサービスを提供しています。
その一つとして、三重大学工学研究科の各研究室を見学する「研究紹介と見学会」を例年実施しています。

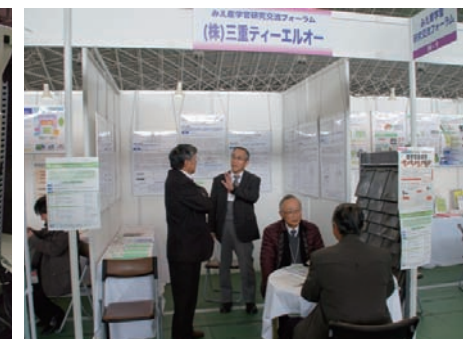
参加者はグループに分かれて関心のある研究室をまわり、先端研究について説明を受けたり、質問ができます。見学後には交流の場が設けられ、教員との情報交換ができるようになっていきます。
会員の多くが地元の中小企業である当社。大学と企業の関係を密にすることにより、地域の産業・経済の発展・共栄を目指しています。



三重TLO交流会（講演会の様子）



三重大学大学院工学研究科 研究紹介と見学会（研究室見学の様子）



展示会へのブース出展



三重ティーエルオー
ロゴマーク

ロゴマークにある3つのリングは、技術移転・研究開発支援・交流支援の各事業が相互に補完し、さらには相乗作用によって、付加価値の高い研究成果を生み出すことを示唆しています。
各リングの中の球体は三重の象徴でもある『真珠』を表しており、地域一体で特色ある新産業を創成する思いを込めています。

株式会社 三重ティーエルオー
〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577 三重大学内
TEL: 059-231-9822 / FAX: 059-231-9829
URL: <http://www.mie-tlo.co.jp/>

株式会社三重ティーエルオー代表取締役社長 長岡城寺英夫氏に、日々の活動から見た産学官連携のあり方についてうかがいました。

「産学官連携で『産』が『学』に期待していること、また『学』の役割とは何でしょうか。」

これまで10年あまり、産学官連携の研究・開発を支援してきました。その経験から、各企業が『学』へ期待していることは大きく3つにまとめられると考えます。
ひとつは、現業の製品・生産技術の改良・改革に関する要望です。例えば、製品寸法精度の向上法の編出し、品質不良の原因解明に向けた分析・解析などです。
次に、新規事業の立ち上げに必要な要素技術・

技術情報の獲得です。バイオ分野進出のための発酵技術や遺伝子解析技術などの修得支援、さらには特許等先行技術調査による情報収集など、他分野に関連したニーズが多くなってきています。
三つめは、国家レベルでの将来ニーズに対応する基幹・基礎技術・応用技術に関する期待です。三重大学では、風力発電、バイオマス発電、高容量リチウム電池、燃料電池などのエネルギー分野、先端医療関連技術（人口医療材料、高機能ロボット）など先端的な研究・開発を推進しています。

このような『産』の期待・ニーズに対して、シーズ技術（特許など）の移転や技術指導・共同研究を的確にタイムリングよくコーディネートすることが当社の役割です。

特に中小企業では、人材不足により、一人何役かの仕事を担せざるを得ない状況があり、幅広いコーディネートシジョン活動が必要となります。
その上で『産』の期待に十分に対応するためには、『学』が各産業界分野に関連する要素技術や応用技術の研究蓄積を有し、開発体制が準備できる体制になっていることが求められます。

「三重ティーエルオーが目指す姿を教えてください。」

TLOの使命のひとつは、先程述べた役割を果たすことにより、『産』から『学』（大学や研究者）へ、本来の研究開発活動に必要な資金を供給することです。一方、『産』に向けての使命は、コーディネート活動を的確に行うことにより、『産』

の効率的な目標達成を「裏方」として支援・実現することです。
具体的には、コーディネーターの経験・能力を活かした知財管理指導や公的助成策への対応支援、人材情報の提供など、これまで以上に各企業への支援機能を発揮していくと考えています。

この地域は、大中小企業群・大学等高等研究機関・行政・公共団体・金融機関・民間団体など「産学官金民」のネットワークが、他地域に比べても密接であると感じます。
その中の一員として、大学等の研究開発機能を背景に、各企業が技術基盤を強化・発展してもらうこと、地域の産業発展に一層多く寄与していくことが、三重ティーエルオーの目指す方向です。

「ありがとうございました。」



WITH YOUR SMILE
第三銀行

<http://www.daisanbank.co.jp/>



三重大学 結プラス サイト